現代法ガクブック

東京経済大学　現代法学部

現代法学部ディプロマ・ポリシー

現代法学部は、今日の法化社会を生きる者に不可欠な法と政策を深く学び、「進一層」のチャレンジ精神とグローバルな視点をもって社会に貢献できる人材を育成します。

そのために次のような能力を身に付けた人に学士（現代法学）の学位を授与します。

（DP 1）幅広い教養

多様な文化、歴史及び自然に関する幅広い教養と外国語を身に付けて、持続可能な地球社会の形成に主体的に寄与できる能力

（DP 2）専門知識

現実の社会問題に触れながら、法と政策に関する専門知識を適切に修得し、社会を多角的に考えることができる能力

（DP 3）専門知識の活用力

法と政策に関する専門知識と思考方法を活かし、社会における諸問題を発見し、課題の本質を考察して解決に導くことができる実践的能力

（DP 4）総合的な判断力と行動力

問題解決に必須の論理的思考とコミュニケーション力に裏付けられた総合的な判断力と行動力

contents

「現代法ガクブック」の目的 ……P1
学びのポイント！❶ ……P2
学びのポイント！❷ ……P3
学びのポイント！❸ ……P4
学びのポイント！❹ ……P5
現代法学部6つのプログラム／表の見方 ……P6
総合法プログラム ……P7
公共政策プログラム ……P8
ビジネス法プログラム ……P9
消費者法プログラム …… P10
環境法プログラム …… P11
福祉法プログラム …… P12
現代法学部2つのアドバンストプログラム… P13
法プロフェッショナルプログラム …… P14
公務員志望者支援プログラム …… P15
振り返りシート／1年…… P16~19
振り返りシート／2年 …… P20~23
振り返りシート／3年 …… P24~27
振り返りシート／4年…… P28~29
卒業要件表…… P30

「現代法ガクブック」の目的

「現代法ガクブック」の目的は2つあります。

1つ目は、現代法学部に入学した皆さんがこれから「プログラム」に所属して学修を進めていくために、学習の進捗を書き込み、次年度の学びについて計画を立て、それを「学習相談会」で教員に相談する、主体的な学びをサポートする目的です。

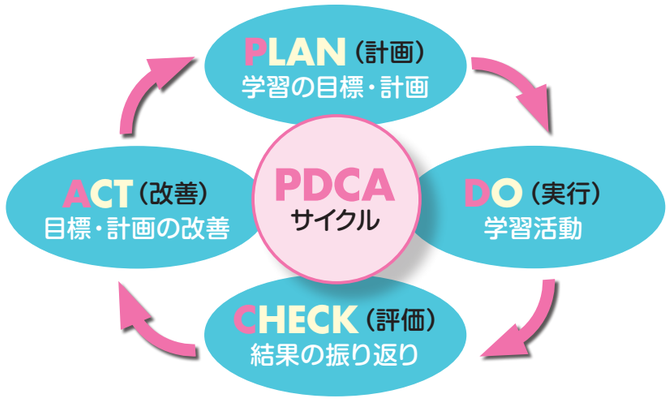
現代法学部のカリキュラムは、各自が、プログラムで指定された科目を自由に選び、学んでいくことができますが、やみくもに学んでも力が付きません。

プログラムで指定されている科目の中にも「繋がり」があります。この冊子に記入し、次年度の時間割（案）を作成し、「学習相談会」に参加してください。参加した際は、「自分はこの分野に興味があるんだ」「こういった進路を考えているんだ」などの思いを伝えてください。一人一人のオーダーメイド型「履修モデル」を作成しましょう。

2つ目は、学期末、年度末に「振り返り」、「目標」を記入するための、「ラーニング・ポートフォリオ」機能を果たします。「ラーニング・ポートフォリオ」では、指定された期間ごとに、「自らの学修」を振り返り、記入することで、達成、反省を把握すると同時に、今後の課題も見えてきます。必ず毎回記入して、学務課にコピーを提出してください。

「達成度」は単に試験や成績だけでは測れません。試験で測ることができるのは「知識」の修得であり、「学ぶ過程」や「取り組み方」を通して実質的な学びが見えてきます。この冊子を通して「今」と「未来」を考えます。

記入した「ラーニング・ポートフォリオ」を通じて、自分の成長を実感し、やる気を持続することができます。また、就職活動を始める時に行う「自己分析」もスムーズに行うことができます。



ラーニング・ポートフォリオの記載内容

- ●将来、何をしたいのか
- ●大学で、何をしたいのか
- ●そのために今、何をやるのか
- ●どのようにやるのか
- ●どのようにやったのか
- ●やってみてどうだったか
- ●こうやれば…（アドバイス）

◆記入時期・提出期間

期間	記入時期	提出期間
入学～１年１期	１年８月～９月	９月中旬～末日
～１年２期	１年２月～３月	３月下旬～４月 10 日
～２年１期	２年８月～９月	９月中旬～末日
～２年２期	２年２月～３月	３月下旬～４月 10 日
３年（１年間）	３年２月～３月	３月下旬～４月 10 日
４年（１年間）	４年２月～３月	３月上旬～卒業式

提出先→学務課（６号館1階）

学びのポイント！1
「演習科目（ゼミ）」は 1年生～4年生まで続けて履修しましょう

ゼミは大学生活の柱です

1年次1期 履修必修
大学入門

1年次2期 履修必修
社会・法学入門

2年次1期 指定履修必修
社会・法学セミナー

2年次1期 指定履修必修
基礎演習Ⅰ

2年次2期 指定履修必修
基礎演習Ⅱ

3年次通年　選考あり
演　習

4年次通年　選考あり
演　習

4年次通年　選考あり
演習・卒業研究

卒　業

学びのポイント！2
入門科目、入門演習は、必ず単位修得しましょう

入門科目、入門演習は、これからの4年間の学びを左右する重要な科目ですので、履修必修科目（または指定履修必修科目）に指定されています。また、**入門演習から2単位、入門科目から4単位を修得しないと、2年次の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を履修することができません。**このような位置づけの科目ですから、必ず単位取修得するよう心がけてください。（各科目の単位数は4ページを参照）

1年1期

入門演習：**大学入門**（大学で学ぶための基礎）
入門科目：**リーガルリテラシー入門**（法学を学ぶための基礎）
入門科目：**憲法基礎**〈日本国憲法〉

1年2期

入門演習：**社会・法学入門**
（社会の様々な問題を通して問題発見力、解決力を涵養する）
入門科目：**民事法基礎**
入門科目：**刑事法基礎**

2年1期

基礎演習Ⅰ（演習の入門）
社会・法学セミナー
（1年次に入門演習を2単位、入門科目を4単位修得することが出来なかった学生が履修）
各プログラム入門科目
（選んだプログラムにより、入門科目が違います）

2年2期

基礎演習Ⅱ
（演習の入門、必ず基礎演習Ⅰとは違う先生を履修する）
各プログラム入門科目（ビジネス法プログラム選択者のみ）

学びのポイント！3
6つの「プログラム」のどれかに所属し、各自で学修を進めましょう

この冊子には、各プログラムで指定されている、具体的な科目が示されています。自分が選んだプログラムの、指定科目を履修することで、よりその分野について力をつけることができます。この冊子に大いに書き込んで活用してください。

オススメ！ **履修モデル**（全体）

●総合教育科目の単位を修得する
計36単位

※一部「プログラム科目」に指定されている科目あり

●入門科目の単位を修得する
計12単位

- リーガルリテラシー入門　4単位
- 憲法基礎（日本国憲法）　2単位
- 民事法基礎　2単位
- 刑事法基礎　2単位
- キャリアデザイン基礎　2単位

●演習科目の単位を修得する
計20単位

- 大学入門　2単位
- 社会・法学入門　2単位
- 基礎演習Ⅰ／Ⅱ　4単位
- 演習　4単位
- 演習＋卒業研究　8単位

●各プログラム科目の単位を修得する
計44単位

- 各プログラム入門科目　2単位（ビジネス法は4単位）
- 他現代法学部専門科目　42単位（ビジネス法は40単位）

●自由認定枠の単位を修得する
計12単位

- ・総合教育科目
- ・プログラム科目
- ・キャリア科目
- ・アドバンストプログラム科目 等から

36+12+20+44+12=124

現代法学部卒業要件単位＝

124単位 をクリア

※1年間に最大48単位履修登録を行うことができます。
※半期に最大28単位履修登録を行うことができます。
※例：1期に28単位登録した場合は2期は最大20単位まで。

学びのポイント！4
学期、学年ごとに「ラーニング・ポートフォリオ（LP）」を作成しましょう

1年次1期、1年次2期、2年次1期、2年次2期、3年次1期、3年次2期終了、4年次修了時に、16ページ以降の「ラーニング・ポートフォリオ（LP）」に記入してください。記入済みのLPをコピーし、指定された期日までに、必ず学務課に提出してください。

1年1期の振り返りシート（4月から9月まで）

記入時期 1年次1期、8月～9月中旬
●コピーを学務課に提出すること
（9月中旬から9月30日まで　※土日祝日を除く）

学籍番号	19L2019	氏名	東経 法子

忘れないうちに記入しておきましょう

単位修得状況	総合教育科目（ 12 ）単位 現代法学部科目（ 10 ）単位 計（ 22 ）単位　（GPA：2.94 ）
興味を持った科目とその理由	1「憲法基礎」 理由：大学で初めて学ぶ専門基礎科目のひとつだった。時事問題にも触れながらの授業は理解しやすく、基本的なことを大事にした内容で視野が広がったことを実感する。 2「コンピュータ・リテラシー入門」 理由：PCの基本的なスキルは普段の授業の準備や報告、またレポートの作成に不可欠であるだけでなく、卒業後も必須であることがよくわかった。苦手意識を克服できた。
「大学入門」の内容、身につけたこと 担当　中川　先生	教材、テーマ、レポートが何回あった、どんな内容だった、どのような発表をしたなどを通じて振り返りましょう 「大学は何をどのように学んでいく場所なのか」という最も基本的なことについて、様々な視点から考えることができた。消極的に受身でいる間は、理解は深まらないこと、授業の準備や復習が大切であり、そのために参考図書を丁寧に読むこと、図書館をフルに活用すること、さらに社会への関心を深めることなど、多くのことを学んだ。3回の小レポートと発表、レジュメの作成といった体験もプラスになった。
「リーガルリテラシー入門」の内容、身につけたこと	・印象に残った授業内容 全体として、様々な法がどのように私たちの生活や社会に関わっているのか、また現実の社会の問題を法はどう解決していくのか、ということについて多くの手がかりをもとに学ぶことができた。 ・この科目を履修して得られたこと これからさらに法について学修を進めるための土台づくりができたと思う。同時に、社会の中で、自分自身はどのような役割や責任を負っているのか、についても考えさせられる授業だった。

16

現代法学部 6つのプログラム

現代法学部は、6つのプログラムを設置しています。皆さんは2年次からプログラムに所属します。履修科目及びどの学年で履修するのが望ましいかについては、各プログラムの頁を参考にしてください。

※年度により、履修推奨科目と履修必修科目等の開講時限が重複することがあります。その際は、翌年度以降に履修してください。

表の見方

1桁目

L …… 現代法学部

2桁目

E …… 演習科目
N …… 入門科目
P …… プログラム科目（現代法学部）
Q …… プログラム科目（他学部関連科目）
S …… 資格認定
U …… キャリア科目
W …… 法プロ科目
Y …… グローバルキャリアプログラム科目

自由記入欄

単位を修得したらチェックするなど

3桁目

R …… 履修必修科目
S …… その他

自由記入欄

単位を修得した年度や評価を記入するなど

□	LPR203	基本ビジネス法Ⅰ	2	①②	

全学共通

総合教育科目

授業科目名

4桁目

1 ……1年次から
2 ……2年次から
3 ……3年次から
4 ……4年次から

5・6桁目

科目群ごとの通し番号

単位数

（ビジネス法プログラムのみ）

職業別4モデル

① 法務モデル
② 経理・財務モデル
③ 営業・販売モデル
④ 総務・企画・広報モデル
共 1～4モデル共通

総合法プログラム

※法プロフェッショナルプログラムを目指す学生は、総合法、消費者法プログラムの教員の演習を薦めます。

教員	[主な科目]
加藤 一彦 教授	[憲法（日本国憲法）]
木本 洋子 教授	[民事手続と法a／b]
久保 健助 教授	[憲法（日本国憲法）]
古賀 絢子 専任講師	[民法（家族法）]
高平 奇恵 准教授	[刑事手続と法a／b]
中川 純 教授	[労働法a／b]
野村 武司 教授	[現代行政法a／b]
村 千鶴子 教授	[基本消費者取引法a／b]
村本 武志 教授	[民法（契約法）]
山本 紗知 准教授	[行政救済法a／b]

身につける力

プログラム入門科目

法的問題のありかを把握し、その原因や背景を探り、発表し、議論、論文にまとめるための基礎的な力を身につける。

ある事象が法的問題となるかどうかを判断するための基本的な法律の仕組みや知識を理解し、それをケースに当てはめ、バランスの取れた問題解決力 を身につける。

推奨科目

1年次から				2年次から				3年次から			
				□ LPR201	裁判傍聴演習	2					
□ LPS101	日本近現代法史a	2		□ LPS231	市場の経済学a	2		□ LPS223	国際社会と法a	2	
□ LPS102	日本近現代法史b	2		□ LPS232	市場の経済学b	2		□ LPS224	国際社会と法b	2	
□ LPS103	法社会学基礎a	2						□ LPS306	外国の法Ⅰ	2	
□ LPS104	法社会学基礎b	2						□ LPS307	外国の法Ⅱ	2	
□ LPS105	ジェンダーと法a	2						□ LPS308	外国の法Ⅲ	2	
□ LPS106	ジェンダーと法b	2									
				□ LPS205	民法（契約法）a	2		□ LPS319	投資サービスと法	2	
				□ LPS206	民法（契約法）b	2		□ LPS320	労働法a	2	
								□ LPS321	労働法b	2	
								□ LPS233	基本消費者取引法a	2	
								□ LPS234	基本消費者取引法b	2	
								□ LPS316	競争と法a	2	
								□ LPS317	競争と法b	2	
								□ LPS326	広告・表示と法	2	
				□ LPS209	民法（家族法）	2		□ LPS301	民法（債権担保法）	2	
								□ LPS208	民法（物権法）	2	
				□ LPS229	企業取引法a	2		□ LPS227	会社法a	2	
				□ LPS230	企業取引法b	2		□ LPS228	会社法b	2	
								□ LPS314	商取引と法a	2	
								□ LPS315	商取引と法b	2	
				□ LPS207	民法（不法行為法）	2		□ LPS238	被害救済と法	2	
				□ LPS235	商品安全と法	2		□ LPS302	民事手続と法a	2	
								□ LPS303	民事手続と法b	2	
				□ LPS210	刑法a	2		□ LPS212	少年法	2	
				□ LPS211	刑法b	2		□ LPS304	刑事手続と法a	2	
								□ LPS305	刑事手続と法b	2	
				□ LPS202	憲法（統治機構）	2		□ LPS213	現代の行政a	2	
								□ LPS214	現代の行政b	2	
								□ LPS215	現代行政法a	2	
								□ LPS216	現代行政法b	2	
								□ LPS217	現代政治学a	2	
								□ LPS218	現代政治学b	2	
								□ LPS309	行政救済法a	2	
								□ LPS310	行政救済法b	2	
								□ LPS311	地方自治と法a	2	
								□ LPS312	地方自治と法b	2	
				□ LPS201	憲法（人権）	2		□ LPS203	情報と法a	2	
								□ LPS204	情報と法b	2	
								□ LPS244	高齢者福祉と法（制度政策）	2	
								□ LPS245	高齢者福祉と法（サービス）	2	
								□ LPS248	法哲学	2	

■総合法プログラム

憲法、民・商法、刑法や訴訟法など基本的な法律科目群を提供するプログラムである。法を本格的に学ぶことで、法的思考を身につけ、法的紛争を解決する力を身につけることを目的とする。権利や自由、それが他者や社会とぶつかりあったときの解決方法、社会生活を営む上でのトラブルの予防や対処、生じた損害を回復するための基本的なルール、法で禁止や要請されているものと不正行為や犯罪等、扱う問題は多岐にわたる。法科大学院への進学、司法書士、行政書士、裁判所事務官など法律専門職を目指す学生にとどまらず、公務員や企業を目指す学生にも対応している。

公共政策プログラム

教員	[主な科目]
野村 武司 教授	[現代行政法a／b]
羽貝 正美 教授	[現代の行政a／b]
藤原 修　教授	[国際関係論a／b]
山本 紗知 准教授	[行政救済法a／b]
渡辺 龍也 教授	[国際開発協力a／b]

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、総合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

身につける力

プログラム入門科目

公共政策分野の基本的な課題と、それらが関係する社会の現実について調べ、理解し、いかなる課題解決の手段があるのか、必要な公共政策を考える力を身につける。

1年次から

□	全学共通	政治学a	2	
□	全学共通	政治学b	2	
□	全学共通	平和学a	2	
□	全学共通	平和学b	2	
□	全学共通	都市と市民a	2	
□	全学共通	都市と市民b	2	
□	全学共通	福祉論a	2	
□	全学共通	福祉論b	2	
□	全学共通	ＮＰＯ論a	2	
□	全学共通	ＮＰＯ論b	2	
□	LPS107	現代社会論a	2	
□	LPS108	現代社会論b	2	

2年次から

□	LPR202	公共政策論	2	
□	LPS219	国際学Ⅰ	2	
□	LPS220	国際学Ⅱ	2	
□	LPS221	国際関係論a	2	
□	LPS222	国際関係論b	2	
□	LPS225	国際開発協力a	2	
□	LPS226	国際開発協力b	2	
□	LPS201	憲法（人権）	2	
□	LPS202	憲法（統治機構）	2	
□	LPS213	現代の行政a	2	
□	LPS214	現代の行政b	2	
□	LPS215	現代行政法a	2	
□	LPS216	現代行政法b	2	
□	LPS217	現代政治学a	2	
□	LPS218	現代政治学b	2	
□	LPS236	都市環境論a	2	
□	LPS237	都市環境論b	2	
□	LPS205	民法（契約法）a	2	
□	LPS206	民法（契約法）b	2	
□	LPS209	民法（家族法）	2	
□	LPS210	刑法a	2	
□	LPS211	刑法b	2	

3年次から

□	LPS223	国際社会と法a	2	
□	LPS224	国際社会と法b	2	
□	LPS203	情報と法a	2	
□	LPS204	情報と法b	2	
□	LPS239	環境規制と法	2	
□	LPS240	社会保障と法	2	
□	LPS241	児童福祉と法	2	
□	LPS242	障がい児・者と法	2	
□	LPS243	貧困と法	2	
□	LPS244	高齢者福祉と法（制度・政策）	2	
□	LPS245	高齢者福祉と法（サービス）	2	
□	LQS317	コミュニティ福祉論a	2	
□	LQS318	コミュニティ福祉論b	2	
□	LPS309	行政救済法a	2	
□	LPS310	行政救済法b	2	
□	LPS311	地方自治と法a	2	
□	LPS312	地方自治と法b	2	
□	LPS328	国際環境法	2	
□	LQS303	地方財政論a	2	
□	LQS304	地方財政論b	2	
□	LQS305	現代の財政a	2	
□	LQS306	現代の財政b	2	
□	LQS317	コミュニティ福祉論a	2	
□	LQS318	コミュニティ福祉論b	2	

■公共政策プログラム

人、モノ、カネ、情報がグローバルに行き交う今日、それに即した国内外の新たな価値観とルールの形成が求められている。公共政策とは、そうした価値観やルールを個々の現実的課題への対応として具体化したものである。その具体化には国際機関、国家、自治体はもとより、企業、NGO・NPO、個人という民間レベルの多様な主体も深く関わっている。公共政策プログラムは、こうした視点を基礎に、国際機関から個人にいたるまでの様々な主体を現代公共政策の担い手ととらえ、その合理的な形成・執行・評価に関わる諸問題を幅広く考えるための基本的知識・情報を修得し、理解を深め、公共政策を考える思考方法を身に着けることを目的とする。

ビジネス法プログラム

教員	[主な科目]
和泉澤 衛 教授	[競争と法a／b]
桜井 健夫 教授	[商取引と法a／b]
田邉 真敏 教授	[企業取引法a/b]
細川 和憲 教授	[租税法（企業課税） a／b]

ビジネス法プログラム独自の資格修得支援！

※「ビジネス法プログラム」を登録した学生は、CSC開講の「ビジネス実務法務検定講座3級」の受講料免除などの特典があります。

身につける力

プログラム入門科目

ビジネス分野の基本的な法と、それら法が関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

ビジネス分野に関わる様々な法と実体経済の基礎知識を学び、それらが関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

履修モデルとして、職種別４モデルを提示する。

共：モデル共通
①法務
②経理・財務
③営業・販売
④総務・企画・広報

1年次から

□	LQS101	簿記原理a	2	共
□	LQS102	簿記原理b	2	共
□	全学共通	経済学	4	共
□	全学共通	経営学a	2	共
□	全学共通	経営学b	2	共

2年次から

□	LPR203	基本ビジネス法Ⅰ	2	共
□	LPR204	基本ビジネス法Ⅱ	2	共
□	LPS201	憲法（人権）	2	共
□	LPS202	憲法（統治機構）	2	共
□	LPS205	民法（契約法）a	2	共
□	LPS206	民法（契約法）b	2	共
□	LPS207	民法（不法行為法）	2	共
□	LPS227	会社法a	2	共
□	LPS228	会社法b	2	共
□	LUR201	キャリアデザイン基礎	2	共
□	LPS223	国際社会と法a	2	④
□	LPS224	国際社会と法b	2	④
□	LPS229	企業取引法a	2	①②③
□	LPS230	企業取引法b	2	①②③
□	LPS231	市場の経済学a	2	③
□	LPS232	市場の経済学b	2	③
□	LPS233	基本消費者取引法a	2	①③
□	LPS234	基本消費者取引法b	2	①③
□	LPS235	商品安全と法	2	①③④
□	LQS203	企業論a	2	③
□	LQS204	企業論b	2	③
□	LQS205	流通政策論	2	③④
□	LQS206	広告論a	2	④
□	LQS207	広告論b	2	④
□	LQS208	リスクマネジメント論a	2	①④
□	LQS209	リスクマネジメント論b	2	①④
□	LQS210	広報論	2	④
□	LQS211	企業コミュニケーション基礎	2	④
□	LQS212	ソーシャルメディア論	2	④

3年次から

□	LPS301	民法（債権担保法）	2	共
□	LPS208	民法（物権法）	2	共
□	LPS316	競争と法a	2	共
□	LPS317	競争と法b	2	共
□	LPS318	知的財産法（特許法・著作権法）	2	共
□	LUS302	キャリア講座Ⅰ	2	共
□	LUS303	キャリア講座Ⅱ	2	共
□	LPS302	民事手続と法a	2	①
□	LPS303	民事手続と法b	2	①
□	LPS313	法と経済	2	①④
□	LPS314	商取引と法a	2	①②③
□	LPS315	商取引と法b	2	①②③
□	LPS319	投資サービスと法	2	②③
□	LPS320	労働法a	2	①④
□	LPS321	労働法b	2	①④
□	LPS322	租税法（個人課税）a	2	②
□	LPS323	租税法（個人課税）b	2	②
□	LPS324	租税法（企業課税）a	2	①②
□	LPS325	租税法（企業課税）b	2	①②
□	LPS326	広告・表示と法	2	①③④
□	LPS327	消費者信用と法	2	③
□	LPS329	企業の環境管理	2	④
□	LQS301	国際貿易論a	2	④
□	LQS302	国際貿易論b	2	④
□	LQS307	財務会計論a	2	②
□	LQS308	財務会計論b	2	②

■ビジネス法プログラム

ビジネス法分野における様々な事象や問題について幅広く検討し、これにかかわる経済活動・企業組織・取引ルールをはじめとした各種の法制度等を学び理解を深め、法化社会においてビジネスパーソンに求められる法的素養・知識や法的解決能力を身につける。具体的には、ビジネスに関連する基本的な法律、実体経済の基礎知識、それらが関係する社会の現実などの科目を配置し、社会人としてのリーガルマインドの涵養を図るとともに、高等教育（大学）に対する社会的要請にもこたえていく。

消費者法プログラム

教員	[主な科目]
桜井 健夫 教授	[投資サービスと法]
永下 泰之 准教授	[商品安全と法]
村 千鶴子 教授	[基本消費者取引法a／b]
村本 武志 教授	[民法（契約法）]

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、総合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

身につける力

プログラム入門科目

消費者法分野の基本的な法と、それら法が関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

1年次から			
LPS101	日本近現代法史a	2	
LPS102	日本近現代法史b	2	
LPS103	法社会学基礎a	2	
LPS104	法社会学基礎b	2	

2年次から			
LPR205	消費者問題と法	2	
LPS201	憲法（人権）	2	
LPS202	憲法（統治機構）	2	
LPS205	民法（契約法）a	2	
LPS206	民法（契約法）b	2	
LPS207	民法（不法行為法）	2	
LPS209	民法（家族法）	2	
LPS203	情報と法a	2	
LPS204	情報と法b	2	

3年次から			
LPS301	民法（債権担保法）	2	
LPS208	民法（物権法）	2	
LPS302	民事手続と法a	2	
LPS303	民事手続と法b	2	
LPS311	地方自治と法a	2	
LPS312	地方自治と法b	2	
LPS313	法と経済	2	
LPS316	競争と法a	2	
LPS317	競争と法b	2	
LPS318	知的財産法（特許法・著作権法）	2	
LPS314	商取引と法a	2	
LPS315	商取引と法b	2	

消費者法分野にかかわる様々な法と実体経済の基礎知識を学び、それらが関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

LPS233	基本消費者取引法a	2	
LPS234	基本消費者取引法b	2	
LPS235	商品安全と法	2	
LPS229	企業取引法a	2	
LPS230	企業取引法b	2	
LPS215	現代行政法a	2	
LPS216	現代行政法b	2	

LPS327	消費者信用と法	2	
LPS319	投資サービスと法	2	
LPS326	広告・表示と法	2	

■消費者法プログラム

消費者問題は消費者と事業者との格差により生ずるものであり、その内容は時代とともに大きく変遷している。このプログラムでは消費者問題をめぐる現状及び消費者被害の防止と事業者の公正競争市場を確保するための法である消費者法について学ぶ。持続可能な消費生活を目指す消費者市民社会、事業者は公正競争における適正な競争を行うためどうあるべきかも研究する。

環境法プログラム

教員	[主な科目]
片岡 直樹 教授	[国際環境法]
森反 章夫 教授	[都市環境論a／b]
山本 紗知 准教授	[環境規制と法]

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、総合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

身につける力

プログラム入門科目

環境問題の解決のために、関係する法と、それら法が関係する社会の現実について、知り、理解し、調べ、考える力を身につける。

2年次から			
LPR206	環境問題と法	2	
LPS238	被害救済と法	2	
LPS239	環境規制と法	2	
LPS215	現代行政法a	2	
LPS216	現代行政法b	2	
LPS207	民法（不法行為法）	2	
LPS236	都市環境論a	2	
LPS237	都市環境論b	2	

3年次から			
LPS208	民法（物権法）	2	
LPS302	民事手続と法a	2	
LPS303	民事手続と法b	2	
LPS309	行政救済法a	2	
LPS310	行政救済法b	2	
LPS311	地方自治と法a	2	
LPS312	地方自治と法b	2	
LPS313	法と経済	2	
LPS328	国際環境法	2	
LPS329	企業の環境管理	2	

環境問題の法と関係する、他の多様な分野の知識を得て、それらと関係する法知識を活用する力を身につける。

1年次から			
全学共通	ＮＰＯ論a	2	
全学共通	ＮＰＯ論b	2	
全学共通	環境の科学a	2	
全学共通	環境の科学b	2	
GCS118	生命の科学a	2	
GQS107	都市と市民a	2	
GQS110	平和学b	2	

LPS213	現代の行政a	2	
LPS214	現代の行政b	2	
LPS223	国際社会と法a	2	
LPS224	国際社会と法b	2	
LPS225	国際開発協力a	2	
LPS226	国際開発協力b	2	

LQS309	環境経済学a	2	
LQS310	環境経済学b	2	
LQS311	地球環境問題a	2	
LQS312	地球環境問題b	2	

■環境法プログラム

（1）環境問題は日本のみならず、世界的に解決しなければならない課題である。民間企業は、その生産活動等を環境共生型にすることが求められ、行政の公共事業も同様であり、そこに企業は商機を見いだそうとしている時代である。行政は、国民・住民の権利を保護し、環境問題を解決するために、重要な役割を持つ。このように、将来、どこで働くにしても、環境問題とその解決のための法の役割について、理解しておくことが重要である。

（2）環境法プログラムは、消費者法プログラム、公共政策プログラム、ビジネス法プログラムとも密接な関係がある。これらのプログラムからも、基本的な科目をとることが望ましい。

福祉法プログラム

教員　　［主な科目］
中川 純　教授……［障がい児・者と法］
西下 彰俊 教授……［福祉調査、応用福祉調査］

※公務員志望者支援プログラムを目指す学生は、公共政策、総合法、消費者法、環境法、福祉法の教員のゼミを薦めます。

身につける力	1年次から	2年次から	3年次から
プログラム入門科目		□ LPR207 福祉問題と法 2	
福祉分野の法と、それら法が関係する社会の現実について知り、理解し、調べ、考える力を身につける。	□ LPS105 ジェンダーと法a 2 □ LPS106 ジェンダーと法b 2 □ 全学共通 福祉論a 2 □ 全学共通 福祉論b 2 □ 全学共通 NPO論a 2 □ 全学共通 NPO論b 2	□ LPS240 社会保障と法 2 □ LPS241 児童福祉と法 2 □ LPS242 障がい児・者と法 2 □ LPS243 貧困と法 2 □ LPS244 高齢者福祉と法(制度政策) 2 □ LPS245 高齢者福祉と法（サービス） 2 □ LPS201 憲法（人権） 2 □ LPS205 民法（契約法）a 2 □ LPS206 民法（契約法）b 2 □ LPS207 民法（不法行為法） 2 □ LPS209 民法（家族法） 2 □ LPS233 基本消費者取引法a 2 □ LPS234 基本消費者取引法b 2 □ LPS215 現代行政法a 2 □ LPS216 現代行政法b 2 □ LPS212 少年法 2	□ LPS309 行政救済法a 2 □ LPS310 行政救済法b 2 □ LPS311 地方自治と法a 2 □ LPS312 地方自治と法b 2 □ LPS320 労働法a 2 □ LPS321 労働法b 2
福祉問題と関係する、他の多様な分野の知識を得て、それらと関係する法知識を活用する力を身につける。		□ LPS246 福祉調査 2 □ LPS247 応用福祉調査 2 □ LQS213 コミュニティの経済学a 2 □ LQS214 コミュニティの経済学b 2 □ LQS215 ソーシャル・マーケティング論a 2 □ LQS216 ソーシャル・マーケティング論b 2	□ LPS330 社会福祉実践 2 □ LQS305 現代の財政a 2 □ LQS306 現代の財政b 2 □ LQS315 社会政策a 2 □ LQS316 社会政策b 2 □ LQS317 コミュニティ福祉論a 2 □ LQS318 コミュニティ福祉論b 2

■福祉法プログラム

高齢者介護や保健・医療、年金、働く人々の雇用や失業、貧困問題、あるいは児童の養育等に関わる福祉問題について学ぶ。また、関連する法制度の理解を通して、それらの問題を具体的に解決する能力を身につけるとともに、様々な領域で活躍できる人材を養成することを目的とする。

（1）福祉法プログラムは、福祉施設、NPO法人、地方公務員、シンクタンク等福祉関連の職場で働きたいという学生、医療・福祉・保健及び保険等の企業に勤めたい学生、更には人間を対象とするサービス業に従事したい学生を念頭におく。

（2）公共政策プログラム、消費者法プログラム、環境法プラグラムとの関連も深いことから、それらの基本的な科目も履修することが望ましい。

現代法学部２つのアドバンストプログラム

現代法学部は、２つのアドバンストプログラムを設定しています。

■「法プロフェッショナルプログラム（TKU／LPP）」

法律専門職への合格を目指す学生、法科大学院への進学を考えている学生、法をより深く学びたい学生のためのアドバンストプログラムです。

●目指す法律専門職：司法書士、行政書士、裁判所事務官
●所属時期：２年１期から
●所属方法：法学検定ベーシック試験に合格し、法プロフェッショナルプログラム生用科目（公法Ⅰ・Ⅱ、民事法Ⅰ・Ⅱ、刑事法Ⅰ・Ⅱ）を必ず履修していること。

■「公務員志望者支援プログラム（TKU／POP）」

国家公務員（一般職）、地方公務員（一般行政職）、警察官、消防官への合格を目指す学生のためのアドバンストプログラムです。

●目指す公務員：1. 国家公務員（一般職）、地方公務員（一般行政職）
　　2. 警察官、消防官
●所属時期：２年２期から
●所属方法：指定された科目の単位を履修中かつ単位修得していること。

申込方法については「履修の手引き」（毎年３月発行）を参照してください。

グローバルキャリアプログラムについて

グローバルキャリアプログラム生及びグローバルキャリアプログラムに関心のある学生は、プログラムの詳細については学務課に問い合わせてください。

＊アドバンストプログラム

法プロフェッショナルプログラム

※詳細は、説明会で案内します。

目標

①法律をより深く学ぶ
②法科大学院（既修、未修）
③法律専門職試験（司法書士、行政書士、裁判所事務官）

1年次から

□	LNR101	リーガルリテラシー入門	4	
□	LNR102	憲法基礎（日本国憲法）	2	
□	LNR103	民事法基礎	2	
□	LNR104	刑事法基礎	2	

2年次から

□	LPS201	憲法（人権）	2	
□	LPS202	憲法（統治機構）	2	
□	LPS203	情報と法ａ	2	
□	LPS204	情報と法ｂ	2	
□	LPS205	民法（契約法）ａ	2	
□	LPS206	民法（契約法）ｂ	2	
□	LPS207	民法（不法行為法）	2	
□	LPS210	刑法ａ	2	
□	LPS211	刑法ｂ	2	

3年次から

□	LPS208	民法（物権法）	2	
□	LPS302	民事手続と法ａ	2	
□	LPS303	民事手続と法ｂ	2	
□	LPS304	刑事手続と法ａ	2	
□	LPS305	刑事手続と法ｂ	2	
□	LPS309	行政救済法ａ	2	
□	LPS310	行政救済法ｂ	2	

2年～4年

＊各期に必ず1,2科目を履修していることが法プロフェッショナルプログラムの継続所属要件です。

□	LWS201	公法Ⅰ	2	
□	LWS203	公法Ⅱ	2	
□	LWS204	民事法Ⅰ	2	
□	LWS205	民事法Ⅱ	2	
□	LWS206	刑事法Ⅰ	2	
□	LWS207	刑事法Ⅱ	2	

●正課外での学び

1年次
【CSC】法学入門、法学検定（ベーシック講座）
※受講料自己負担

2年次
【CSC】法学検定スタンダード講座
※受講料大学負担

3年次
【学外】専門学校への派遣
※受講料大学負担
【学外】法科大学院模擬試験代
※大学負担

＊アドバンストプログラム

公務員志望者支援プログラム

※詳細は、説明会で案内します。

目標

各種公務員試験

1年次から

□	LNR101	リーガルリテラシー入門	4	
□	LNR102	憲法基礎（日本国憲法）	2	
□	LNR103	民事法基礎	2	
□	LNR104	刑事法基礎	2	
□	全学共通	経済学	4	

2年次から

□	LPR202	公共政策論	2	
□	LPR205	消費者問題と法	2	
□	LPR206	環境問題と法	2	
□	LPR207	福祉問題と法	2	
□	LPS201	憲法（人権）	2	
□	LPS202	憲法（統治機構）	2	
□	LPS205	民法（契約法）ａ	2	
□	LPS206	民法（契約法）ｂ	2	
□	LPS210	刑法ａ	2	
□	LPS211	刑法ｂ	2	
□	LPS213	現代の行政ａ	2	
□	LPS214	現代の行政ｂ	2	
□	LPS215	現代行政法ａ	2	
□	LPS216	現代行政法ｂ	2	
□	LPS221	国際関係論ａ	2	
□	LPS222	国際関係論ｂ	2	
□	LPS231	市場の経済学ａ	2	
□	LPS232	市場の経済学ｂ	2	

3年次から

□	LPS208	民法（物権法）	2	
□	LPS302	民事手続と法ａ	2	
□	LPS303	民事手続と法ｂ	2	
□	LPS309	行政救済法ａ	2	
□	LPS310	行政救済法ｂ	2	
□	LPS311	地方自治と法ａ	2	
□	LPS312	地方自治と法ｂ	2	
□	LPS304	刑事手続と法ａ	2	
□	LPS305	刑事手続と法ｂ	2	

●正課外での学び

1年次
【CSC】公務員・民間対策入門講座
※受講料自己負担

2年次
【CSC】公務員基礎講座
※受講料大学負担

3年次
【CSC】公務員総合講座
※受講料大学負担
【学外】専門学校への派遣
※受検料大学負担

1 年 1 期の振り返りシート（4 月から 9 月まで）

記入時期 1年次1期、8月～9月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（9月中旬から9月30日まで　※土日祝日を除く）

学籍番号		氏名	

忘れないうちに記入しておきましょう

単位修得状況	総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位　（GPA：　　）
興味を持った科目とその理由	1「　　」 理由： 2「　　」 理由：
「大学入門」の内容、身につけたこと 担当 先生	教材、テーマ、レポートが何回あった、どんな内容だった、どのような発表をしたなどを通じて振り返りましょう
「リーガルリテラシー入門」の内容、身につけたこと	・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと

記入時期 1年次1期、8月～9月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（9月中旬から9月30日まで　※土日祝日を除く）

学業について	今期の振り返り：全体として達成できたこと、足りなかったこと、単位修得状況について
1年1期でのディプロマ・ポリシー達成度（表紙の裏に掲載） 達成度に該当する数字に○を付けてください。	DP1 幅広い教養 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小 DP2 専門知識 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小
課外活動	● 部活・サークル（どちらかに○） （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週 ● アルバイト （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週
授業以外の活動で得られたこと	
将来について今考えていること	1 年後期以降、卒業後も含めて
印象に残った社会の出来事	ニュース、事件、判決 等

個人情報につき取り扱いには十分注意してください。（冊子を紛失しないよう注意！）

1年2期の振り返りシート（9月から翌年3月まで）

記入時期 1年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月下旬～4月10日まで　※土日祝日を除く）

学籍番号		氏名	

忘れないうちに記入しておきましょう

単位修得状況	＜1年次2期＞ 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）	＜通算＞ 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）
興味を持った科目とその理由	1「　　」 理由：	
	2「　　」 理由：	
「社会・法学入門」の内容、身につけたこと	・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと	

記入時期 1年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月下旬～4月10日まで　※土日祝日を除く）

学業について	今期の振り返り：全体として達成できたこと、足りなかったこと、単位修得状況について
1年2期でのディプロマ・ポリシー達成度（表紙の裏に掲載） 達成度に該当する数字に○を付けてください。	DP1 幅広い教養 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小
	DP2 専門知識 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小
課外活動	● 部活・サークル（どちらかに○） （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週 ● アルバイト （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週
授業以外の活動で得られたこと	
将来について今考えていること	1年後期以降、卒業後も含めて
印象に残った社会の出来事	ニュース、事件、判決 等

個人情報につき取り扱いには十分注意してください。（冊子を紛失しないよう注意！）

2年1期の振り返りシート（4月から9月まで）

記入時期 2年次1期、8月～9月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（9月中旬から9月30日まで　※土日祝日を除く）

学籍番号		氏名	

忘れないうちに記入しておきましょう

単位修得状況	<2年次1期> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）	<通算> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）
選択プログラム	総合法 ／公共政策 ／ビジネス法 ／消費者法 ／環境法 ／福祉法	
興味を持った科目とその理由	1「　　」 理由：	
	2「　　」 理由：	
プログラム入門科目について	科目名「　　」 ・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと	
基礎演習Ⅰまたは社会・法学セミナーについて	（担当教員名：　　） ・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと	

記入時期 2年次1期、8月～9月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（9月中旬から9月30日まで　※土日祝日を除く）

学業について	今期の振り返り：全体として達成できたこと、足りなかったこと、単位修得状況について
2年1期でのディプロマ・ポリシー達成度（表紙の裏に掲載） 達成度に該当する数字に○を付けてください。	DP1 幅広い教養 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小
	DP2 専門知識 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小
課外活動	● 部活・サークル（どちらかに○） （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週 ● アルバイト （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週
授業以外の活動で得られたこと	
将来について今考えていること	1年後期以降、卒業後も含めて
印象に残った社会の出来事	ニュース、事件、判決 等

個人情報につき取り扱いには十分注意してください。（冊子を紛失しないよう注意！）

2年2期の振り返りシート（9月から翌年3月まで）

記入時期 2年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月下旬～4月10日まで　※土日祝日を除く）

学籍番号		氏名	

忘れないうちに記入しておきましょう

単位修得状況	<2年次2期> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）	<通算> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）
選択プログラム	総合法 ／公共政策 ／ビジネス法 ／消費者法 ／環境法 ／福祉法	
興味を持った科目とその理由	1「　　」 理由：	
	2「　　」 理由：	
基礎演習Ⅱについて	（担当教員名：　　） ・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと	
プログラム科目について	科目名「　　」 ・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと	

記入時期 2年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月下旬から4月10日まで　※土日祝日を除く）

学業について	今期の振り返り：全体として達成できたこと、足りなかったこと、単位修得状況について
2年2期でのディプロマ・ポリシー達成度（表紙の裏に掲載） 達成度に該当する数字に○を付けてください。	DP1 幅広い教養 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小
	DP2 専門知識 達成度 大 ← 5　4　3　2　1 → 達成度 小
課外活動	● 部活・サークル（どちらかに○） （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週 ● アルバイト （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週
授業以外の活動で得られたこと	
将来について今考えていること	1年後期以降、卒業後も含めて
印象に残った社会の出来事	ニュース、事件、判決 等

個人情報につき取り扱いには十分注意してください。（冊子を紛失しないよう注意！）

3年1期の振り返りシート（4月から9月まで）

記入時期 3年次1期、8月～9月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（9月中旬から9月30日まで　※土日祝日を除く）

学籍番号		氏名	

忘れないうちに記入しておきましょう

単位修得状況	<3年次1期> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）	<通算> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）
選択プログラム	総合法 ／公共政策 ／ビジネス法 ／消費者法 ／環境法 ／福祉法	
興味を持った科目とその理由	1「　　」 理由：	
	2「　　」 理由：	
演習について	（担当教員名：　　）	
プログラム科目について	科目名「　　」 ・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと	

記入時期 3年次1期、8月～9月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（9月中旬から9月30日まで　※土日祝日を除く）

学業について	今期の振り返り：全体として達成できたこと、足りなかったこと、単位修得状況について	
3年1期でのディプロマ・ポリシー達成度（表紙の裏に掲載） 達成度に該当する数字に○を付けてください。	**（DP 1）幅広い教養** 多様な文化、歴史及び自然に関する幅広い教養と外国語を身に付けて、持続可能な地球社会の形成に主体的に寄与できる能力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
	（DP 2）専門知識 現実の社会問題に触れながら、法と政策に関する専門知識を適切に修得し、社会を多角的に考えることができる能力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
	（DP 3）専門知識の活用力 法と政策に関する専門知識と思考方法を活かし、社会における諸問題を発見し、課題の本質を考察して解決に導くことができる実践的能力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
	（DP 4）総合的な判断力と行動力 問題解決に必須の論理的思考とコミュニケーション力に裏付けられた総合的な判断力と行動力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
課外活動	● **部活・サークル**（どちらかに○） （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週	● **アルバイト** （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週
授業以外の活動で得られたこと		
将来について今考えていること	1年後期以降、卒業後も含めて	
印象に残った社会の出来事	ニュース、事件、判決 等	

個人情報につき取り扱いには十分注意してください。（冊子を紛失しないよう注意！）

3年2期の振り返りシート（9月から翌年3月まで）

記入時期 3年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月下旬～4月10日まで　※土日祝日を除く）

学籍番号		氏名	

忘れないうちに記入しておきましょう

単位修得状況	<3年次2期> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）	<通算> 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）
選択プログラム	総合法 ／公共政策 ／ビジネス法 ／消費者法 ／環境法 ／福祉法	
興味を持った科目とその理由	1「　　」 理由：	
	2「　　」 理由：	
演習について	（担当教員名：　　）	
プログラム科目について	科目名「　　」 ・印象に残った授業内容 ・この科目を履修して得られたこと	

記入時期 3年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月下旬～4月10日まで　※土日祝日を除く）

学業について	今期の振り返り：全体として達成できたこと、足りなかったこと、単位修得状況について
3年2期でのディプロマ・ポリシー達成度（表紙の裏に掲載） 達成度に該当する数字に○を付けてください。	**（DP 1）幅広い教養** 多様な文化、歴史及び自然に関する幅広い教養と外国語を身に付けて、持続可能な地球社会の形成に主体的に寄与できる能力 達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
	（DP 2）専門知識 現実の社会問題に触れながら、法と政策に関する専門知識を適切に修得し、社会を多角的に考えることができる能力 達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
	（DP 3）専門知識の活用力 法と政策に関する専門知識と思考方法を活かし、社会における諸問題を発見し、課題の本質を考察して解決に導くことができる実践的能力 達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
	（DP 4）総合的な判断力と行動力 問題解決に必須の論理的思考とコミュニケーション力に裏付けられた総合的な判断力と行動力 達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小
課外活動	● **部活・サークル**（どちらかに○） （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週 ● **アルバイト** （　　） ・週（　　）日 ・平均時間（　　）時間／週
授業以外の活動で得られたこと	
将来について今考えていること	1年後期以降、卒業後も含めて
印象に残った社会の出来事	ニュース、事件、判決 等

個人情報につき取り扱いには十分注意してください。（冊子を紛失しないよう注意！）

4年次1年間と、4年間の振り返りシート

記入時期 4年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月上旬～卒業式まで）

学籍番号		氏名	

忘れないうちに記入しておきましょう

修得単位	＜4年次1年間＞ 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）	＜通算＞ 総合教育科目　（　　）単位 現代法学部科目（　　）単位 計　（　　）単位 （GPA：　　）
選択プログラム	総合法 ／公共政策 ／ビジネス法 ／消費者法 ／環境法 ／福祉法 （途中でプログラムを変更した人は2つ○をつけること）	
進路	決定　・　未決定	
演習、 卒業研究について （テーマ設定、 学んだこと、 考えたこと）	（担当教員名：　　）	
4年次に特に力を 入れたこと		

●4年間を振り返って

次のような能力を身に付けた人に学士（現代法学）の学位を授与します。

学修について 学びの達成度評価 達成度に該当する数字に○を付けてください。	**（DP 1）幅広い教養** 多様な文化、歴史及び自然に関する幅広い教養と外国語を身に付けて、持続可能な地球社会の形成に主体的に寄与できる能力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小 達成度
	（DP 2）専門知識 現実の社会問題に触れながら、法と政策に関する専門知識を適切に修得し、社会を多角的に考えることができる能力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小 達成度
	（DP 3）専門知識の活用力 法と政策に関する専門知識と思考方法を活かし、社会における諸問題を発見し、課題の本質を考察して解決に導くことができる実践的能力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小 達成度
	（DP 4）総合的な判断力と行動力 問題解決に必須の論理的思考とコミュニケーション力に裏付けられた総合的な判断力と行動力	達成度 大◀ 5 4 3 2 1 ▶小 達成度

記入時期 4年次2期、2月～3月中旬

●コピーを学務課に提出すること
（3月上旬～卒業式まで　※土日祝日を除く）

達成度を評価した理由、 満足度、 学修してよかった科目や 分野等	
課外活動や 大学生活全般について	（ボランティア、サークル、旅行、趣味、アルバイト、特技、インターンシップなどについて感想、達成度）
自分自身について	（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題発見・解決能力、情報リテラシー、態度・志向性などについて）
今後に向けて	（なりたい自分、目標）

個人情報につき取り扱いには十分注意してください。（冊子を紛失しないよう注意！）

現代法学部 現代法学科「卒業要件表」＊科目の後の丸数字は単位数を表す

科目区分 ＼ 年次・卒業要件			1年次	2年次	3年次	4年次	科目群ごとの卒業必要単位数	自由認定枠
総合教育科目	ベーシック科目	英語に関する科目	総合英語セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②	TOEIC Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 各①				計36単位
		日本語に関する科目	文章表現基礎Ⅰ・Ⅱ 各②	日本語表現Ⅰ・Ⅱ 各②				
		数的思考に関する科目	文系のための基礎数学Ⅰa②・b②	文系のための基礎数学Ⅱa②・b②				
		コンピュータ科目 必修	コンピュータ・リテラシー入門②				2単位	
		コンピュータ科目 選択	コンピュータ・リテラシー応用Ⅰ・Ⅱ各② 情報リテラシー入門②					
	語学科目	英語 必修	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 各②				4単位	
		英語 選択		Business English Ⅰ・Ⅱ 各① Academic English ① English & Culture ①				
		英語アドバンストプログラム		Advanced EnglishⅠ・Ⅱ 各a①・b①	Advanced EnglishⅢ・Ⅳ 各a①・b①			
		選択語学	ドイツ語 フランス語 スペイン語	イタリア語 中国語 朝鮮・韓国語 日本手話（初級）各② 海外語学研修②				
				ドイツ語 フランス語 スペイン語 イタリア語 中国語 朝鮮・韓国語 日本手話（中級）各②				
		アドバンストプログラム科目 グローバルキャリアプログラム 豪州コースのみ履修可（※履修必修）	英語プレレッスンⅠa① 英語プレレッスンⅡa① / 英語プレレッスンⅠb① 英語プレレッスンⅡb①	英語プレレッスンⅢ④ 英語プレレッスンⅣ①	スタディ・アブロードⅠ～Ⅵ 各② 英語アフターレッスン① / TOEICa① TOEICb① Lectures in English④（選択履修）			
		アドバンストプログラム科目 グローバルキャリアプログラム 中国コースのみ履修可（※履修必修）	中国語プレレッスンⅠ② 中国語プレレッスンⅢ①（夏季集中） / 中国語プレレッスンⅡ②	中国語プレレッスンⅣ⑤	スタディ・アブロードⅠ～Ⅵ 各② 中国語アフターレッスン① / 中国語検定a① 中国語検定b① 中国語で学ぶ中国事情④（選択履修）			
		スポーツ科目	スポーツA・B 各①					
				スポーツC①				
		教養講義科目	教養入門② 現代社会の基礎知識②					
			哲学a②・b② 論理学a②・b② 倫理学a②・b② 社会思想a②・b② 現代社会と宗教a②・b② 文化人類学a②・b② 言語学a②・b② カルチュラル・スタディーズa②・b②生命の科学a②・b② 地球の科学a②・b② 環境の科学a②・b② 自然の構造a②・b② 自然地理学a②・b② 数理の科学Ⅰa②・b② 数理の科学Ⅱa②・b② 歴史で知る東京経済大学② 日本史Ⅰa②・b② 日本史Ⅱa②・b② 外国史Ⅰa②・b② 外国史Ⅱa②・b② 人文地理学a②・b② 地誌学a②・b② 世界の地域と文化a②・b② 心理学a②・b② 精神の科学a②・b② 教育学a②・b② 健康の科学a②・b② スポーツの科学a②・b② 芸術学a②・b② 日本文学Ⅰa②・b② 日本文学Ⅱa②・b②外国文学Ⅰa②・b② 外国文学Ⅱa②・b② メディア表現a②・b② コミュニケーション論a②・b② 異文化コミュニケーションa②・b② 政治学a②・b② 社会学a②・b② 人権論a②・b② 世界政治論a②・b② ジェンダー論a②・b② NPO論a②・b② 情報社会論a②・b② 都市と市民a②・b② 平和学a②・b② 福祉論a②・b② 経済学④ 経営学a②・b②				
		教養演習科目	教養ゼミ②	総合教育演習④				
						総合教育研究④		
			総合教育ワークショップ② 英語で学ぶ教養②					
		留学生向けベーシック科目	日本語基礎セミナーⅠa②・b②【履修必修】	日本語基礎セミナーⅡ・Ⅲ 各a②・b②				
					日本語基礎セミナーⅣa②・b②			
		資格・検定に関する科目	資格・検定A① 資格・検定B① 資格・検定C② 資格・検定D②					

教育内容			導入基礎教育		学部基本教育		仕上げ教育				科目群ごとの卒業必要単位数	自由認定枠
科目区分 ＼ 年次・卒業要件			1年次		2年次		3年次		4年次			
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
現代法学部科目	現代法学入門科目	【入門科目】（※履修必修）	リーガルリテラシー入門④ 憲法基礎（日本国憲法）②	民事法基礎② 刑事法基礎②								計76単位
		【演習】	大学入門② ※履修必修	社会・法学入門② ※履修必修	社会・法学セミナー② ※指定履修必修							
		【卒業研究】			基礎演習Ⅰ② ※指定履修必修	基礎演習Ⅱ② ※指定履修必修	演習④		演習④ 演習④ 卒業研究④			
	プログラム科目	【入門科目】			2年次から、「総合法」「公共政策」「ビジネス法」「消費者」「環境」「福祉」のどれか1つを選択しプログラムに所属します。各プログラムの指定科目については「プログラム要件表」を参照してください。							
			総合法プログラム 公共政策プログラム ビジネス法プログラム 消費者法プログラム 環境法プログラム 福祉法プログラム		裁判傍聴演習② 公共政策論② 基本ビジネス法Ⅰ② 基本ビジネス法Ⅱ② 消費者問題と法② 環境問題と法② 福祉問題と法②							
		【選択科目】	日本近現代法史a②・b② 法社会学基礎a②・b② ジェンダーと法a②・b② 現代社会論a②・b②									
					法哲学② 憲法（人権）② 憲法（統治機構）② 情報と法a②・b② 民法（契約法）a②・b② 民法（不法行為法）② 民法（物権法）② 民法（家族法）② 刑法a②・b② 少年法② 現代の行政a②・b② 現代行政法a②・b② 現代政治学a②・b② 国際学Ⅰ② 国際関係論a②・b②国際社会と法a②・b② 国際開発協力a②・b② 会社法a②・b② 企業取引法a②・b② 市場の経済学a②・b② 基本消費者取引法a②・b② 都市環境論a②・b② 社会保障と法② 児童福祉と法② 障がい児・者と法② 福祉調査② 高齢者福祉と法（制度・政策）②						
						国際学Ⅱ② 商品安全と法② 被害救済と法② 環境規制と法② 高齢者福祉と法（サービス）② 貧困と法② 応用福祉調査②					
							民法（債権担保法）② 民事手続と法a②・b② 刑事手続と法a②・b② 外国の法Ⅰ② 外国の法Ⅱ② 外国の法Ⅲ② 行政救済法a②・b② 地方自治と法a②・b② 法と経済② 商取引と法a②・b② 競争と法a②・b② 知的財産法（特許法・著作権法）② 投資サービスと法② 労働法a②・b② 租税法（個人課税）a②・b② 租税法（企業課税）a②・b② 広告・表示と法② 消費者信用と法② 国際環境法② 企業の環境管理② 社会福祉実践②						
		【関連科目】	簿記原理a②b②									
					会計学原理a②・b② 企業論a②・b② 流通政策論② 広告論a②・b② リスクマネジメント論a②・b② 広報論② 企業コミュニケーション基礎② ソーシャルメディア論② コミュニティの経済学a②・b② ソーシャル・マーケティング論a②・b②							
							国際貿易論a②・b② 地方財政論a②・b② 現代の財政a②・b② 財務会計論a②・b② 環境経済学a②・b② 地球環境問題a②・b② 環境ビジネスa②・b② 社会政策a②・b② コミュニティ福祉論a②・b②					
		【資格単位認定科目】	法律資格A②									
			法律資格B④ 法律資格C④ 会計資格A② 会計資格B④									
	キャリア科目		ジェンダーとキャリア形成②									
					地域インターンシップ②							
						キャリアデザイン基礎②（履修必修） ビジネス・マナー②						
							キャリア講座Ⅰ② キャリア講座Ⅱ② プレゼンテーション技法基礎② インターンシップ②					
	アドバンストプログラム科目	法プロフェッショナルプログラム			公法Ⅰ② 公法Ⅱ② 民事法Ⅰ② 民事法Ⅱ② 刑事法Ⅰ② 刑事法Ⅱ②							
		グローバルキャリアプログラム（※履修必修）			特別演習a② 外国書購読②（選択履修）	特別演習b② スタディ・アブロードⅦ～Ⅷ各② 海外インターシップ④	論文作成④（選択履修）					
教職課程授業科目			教育史② 青年論（青年期の現状と発達課題）② 地理学概論② 地誌学概論②								「自由認定枠」12単位	
他学部授業科目			履修を許可された他学部の授業科目									
認定科目			「既修得単位認定（1年次）」「編入学者・学士入学者単位認定（3年次）」「外国大学修得単位認定（協定校・認定校）」「国内他大学単位互換単位認定」									
卒業必要単位			総合教育科目 36単位 ＋ 現代法学部科目 76単位 ＋ 自由認定枠 12単位								現代法学部現代法学科 計124単位	

各科目群の卒業要件超過修得単位

◆「卒業要件表」は、科目数、履修可能年限、卒業要件単位数を示すものです。

＊各プログラムにどの科目が配置されているか、については「プログラム要件表」で確認してください。
＊特別講義が開講される場合があります。単位認定区分等は各年度の「履修の手引き」で確認してください。
＊a②・b②のようにa②とb②の間に「・」がある科目は、「b」単独で履修できることを表します。
＊総合教育科目についての詳細は、「プログラム要件表」で確認してください。

memo

東京経済大学　現代法学部

国分寺キャンパス　〒185-8502　国分寺市南町 1-7-34　代表（番号案内）042-328-7711
学務部学務課　042-328-7755　gakumu@s.tku.ac.jp

学務課窓口業務の案内

成績や履修等に関する相談は学務課で応じます。窓口時間は以下のとおりです。

●【授業期間・補講日・定期試験期間（予備日を除く）】
　平日　8:55 ～ 18:00（11:30 ～ 12:45 はレポート提出等の限定業務のみ）
　土曜日・祝日授業日　8:55 ～ 11:30 ／ 12:45 ～ 17:00

●【授業休止期間・葵祭による休講日・定期試験予備日】
　9:00 ～ 11:30 ／ 12:45 ～ 17:00

※成績に関すること等の個別相談は、17:00 まで（11:30 ～ 12:45 を除く）にお願いします。
※各種提出書類の受付時間は窓口時間と異なる場合があります。
※夏季および年末年始の大学一斉休務日は窓口業務を休止します。
　各年度の一斉休務日は本学 Web サイト等で別途お知らせします。
※年度の途中で窓口時間が変更となる場合があります。
　また、入試実施等のため窓口時間が休止または短縮になることがあります。
　その場合は別途お知らせします。

ラーニング・ポートフォリオ（振り返りシート）
提出先
→学務課（6号館1階）

学籍番号	name